

令和4年度研究推進計画

学校名 江田島市立鹿川小学校

学校長名 坂村 幸三

1 研究主題，研究内容・方法等について

(1) 研究主題

自ら課題を見つけ、探究し続ける児童の育成
～生活・総合的な学習の時間における、児童主体の学習計画作成と振り返りの充実～

(2) 主題設定の理由

本校は、広島県教育委員会より「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の指定を受け、今年度で2年目を迎える。昨年度は、『児童の探究的な学びが生まれる生活科・総合的な学習の時間の在り方～「活用」を意識したカリキュラム・マネジメントを通して～』という研究主題のもと、生活科・総合的な学習の時間を中心にプロジェクト型学習（PBL）をベースとした『探究的な学び』を実施し、児童の「活用力」と「粘り強く取り組む態度」の育成に取り組んだ。

「活用力」について、カリキュラム・マネジメントを実施したことで、文章の書き方や、表やグラフへのまとめ方など、各教科等で学習した内容を、生活科・総合的な学習の時間で活用する活動を実施することができた。全学年で単元開発も行い、研究授業を行った。また、「粘り強く取り組む態度」について、アンケートの結果から、児童・教師ともに、粘り強さが身に付いていると肯定的に捉えていることが分かった。ポートフォリオ形式で使用したプリント等を綴じ、児童の学習の成果を可視化したことで、児童自身も成長を実感することができたと考えられる。一方、学力調査の結果から、活用力の向上が得点に結びついていないとは言えず、さらなるカリキュラム・マネジメントの実施が必要である。さらに、学習に対して受動的・消極的な児童が一定数いることも明らかになり、「主体性の向上」も課題である。

探究的な学びの過程において、「主体的な学び」とは、以下のように整理することができる。

- ・学習に積極的である。
- ・学びの成果や過程を振り返り、次の学びにつなげる。
- ・実社会や実生活の問題などから、児童が自分事として課題を捉える。
- ・学習活動のゴールと、それに至るまでの道筋を鮮明に描き、必要な学習活動の設定を行う。
- ・「振り返り」によって、自らの学びを意味付けたり、価値付けたりして、(自身の成長)を自覚する。 【小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編 第7章 より集約・抜粋】

「主体性の向上」には、「ゴールの活動に向けた学習計画（課題の設定を含む）」と「振り返り」の2点を充実させる必要があることが分かる。PBL をベースとした探究的な学びに取り組むとともに、児童が中心となって学習計画を立てたり、必要に応じて振り返ったりする経験をさせることで、児童の「主体性」の育成が可能になるといえる。今年度の研究では、昨年度に引き続き、「活用力の向上」を目指しカリキュラム・マネジメントの効果的な実施に取り組むとともに、「主体性の向上」に焦点を当てた研究を行う。

(3) 研究仮説

- ◎ 生活科・総合的な学習の時間で、効果的なカリキュラム・マネジメントや、プロジェクト型学習（PBL）をベースとした探究的な学びを実施し、児童が中心となって学習計画を立てたり、学習の過程や成果を振り返ったりする場を適宜設定することで、児童の「主体性」と「活用力」が向上するであろう。

(4) 研究内容

① 「主体性」の向上

○プロジェクト型学習を踏まえた、探究的な学びに取り組むことができる単元計画の作成

- ・ 単元構想シートを使い、「課題への出合わせ方」「探究のサイクル（課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現）」「学習過程の振り返り」「学習成果の振り返り」を明確に設定した単元を構想する。
- ・ 構想した単元計画を基に、定期的に指導・支援内容を振り返る機会をもつ。

○学習の過程や成果を効果的に見取ることができるルーブリック（評価規準）の作成

- ・ 単元を通して育成したい資質・能力のルーブリックの作成をする。
- ・ ルーブリックを児童に提示し、自己評価と相互評価に活用する。

② 「活用力」の向上

○カリキュラム・マネジメントを意識した、教科横断的な単元開発

- ・ 毎学期カリキュラム・マネジメントを実施し、横断的に学習できる単元を設定する。
- ・ 各学年1単元、単元開発を行い、研究授業を通して、実践交流をする。

2 検証計画

| 研究内容 | 検証の視点 | 検証方法・指標 | 達成目標 |
|----------|------------------------|--|--|
| 「主体性」の向上 | 取組を通して、児童の主体性が向上しているか。 | 全国学力・学習状況調査の「総合的な学習の時間」に関する項目を基にした、校内独自のアンケートを全学年で実施。（年2回） | 関連項目の肯定的評価 80%以上 |
| 「活用力」の向上 | 取組を通して、児童に活用力が付いているか。 | テストの点数分析 ・全国学力・学習状況調査 ・江田島市標準学力調査 における「活用」に関する設問 | テスト等の点数分析 ・各教科県平均以上 ・各学年市平均以上 ・無回答率3%以下 |

3 校内研修計画

| 研修内容 | | 日時 | 講師招聘 | 備考 |
|------|------------------------|----------|--------|---------------|
| 理論研修 | 今年度の研究について | 4/20 (水) | | |
| | カリキュラム・マネジメントについて | 4/20 (水) | | |
| | 生活科・総合的な学習の時間の単元構想について | 4/24 (日) | | |
| | 「自分タイム」の進め方 | 4/24 (日) | | |
| | 学習の進捗確認 (月 1 回実施) | 毎月末 | | 最終週の水曜 |
| | その他, 専門研修から得た学びの共有 | 未定 | 必要に応じて | 原則水曜 16 時～を予定 |

| 内容 | | | | | | | | 備考 |
|------|--------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------------------------|
| 研究授業 | 単元開発協議 | 6/1 (水) | 8/5 (金) | 8/5 (金) | 10/5 (水) | 11/2 (水) | 12/7 (水) | ※授業日 1 週間前までに、市教委へ指導案提出。 |
| | 指導案検討 | 6/15 (水) | 8/29 (月) | 8/29 (月) | 10/12 (水) | 11/16 (水) | 1/23 (金) | ※指導案提出後、訂正がある場合は、授業前日までに印刷し配布。 |
| | 研究授業 | 6/29 (水) | 9/21 (水) | 9/28 (水) | 10/26 (水) | 11/30 (水) | 1/25 (水) | ※下線の日程は、講師招聘を行う。(変更の場合有) |

| | | 1 回目 | 2 回目 | 備考 |
|-------|-----------------|--------------|---------------|------------------------------|
| 調査まとめ | 児童アンケート (計 2 回) | 7/4(月)～8 (金) | 2/13(月)～17(金) | ※報告書の提出期限によっては、2 回目を早めに実施する。 |
| | 教員アンケート (計 2 回) | | | |
| | 研究のまとめ | 3/3 (金) | | |

4 研究公開の予定について

| | |
|-------|-------------|
| 公開予定日 | |
| タイプ | 普及型・提案型・報告型 |
| 公開範囲 | |
| 公開内容等 | |

※ タイプについては、校内研修ハンドブック (広島県教育委員会 平成 15 年 3 月) を参照。

